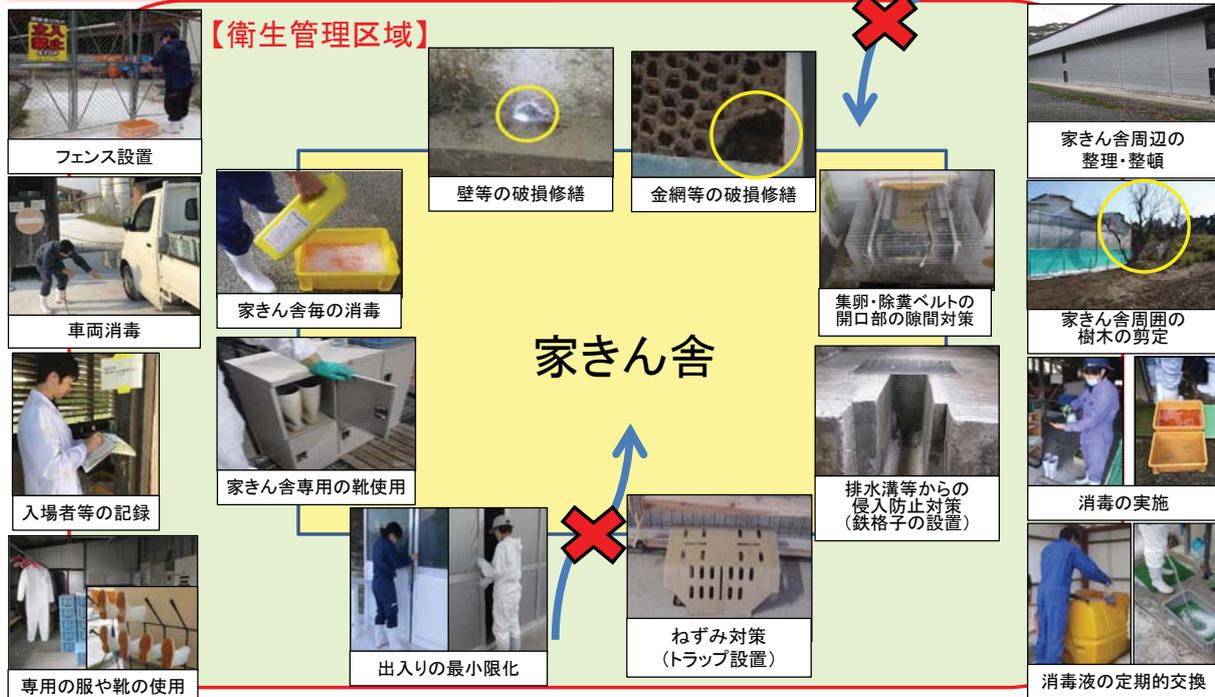


## 本シーズン国内3例目 奈良県で採取された野鳥の糞便より 低病原性鳥インフルエンザウイルス検出

令和元年 11月 28日 奈良県大和郡山市において採取された野鳥糞便 1検体から、低病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N3亜型）が検出されたとの報告がありましたので、情報共有いたします。なお、このことについて、野鳥での対応は特にありません。

先般の日鶏協ニュース及び速報でも本病ウイルス検出についてお知らせいたしましたところですが、短期間での複数の検出という事もあり会員の皆様には改めて本病ウイルスの侵入防止対策をご確認いただきますようお願いいたします。

### 予防対策の重要ポイント



- |   |   |
|---|---|
| <p>① 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底</li> <li>・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用</li> <li>・上記措置の記録</li> </ul> | <p>② 野生動物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕</li> <li>・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓</li> <li>・上記措置の定期点検</li> </ul> |
|---|---|

<農林水産省 鳥インフルエンザに関する情報>

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

【日鶏協速報】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内 (5階)

TEL : (03)3297-5515 FAX : (03)3297-5519 発行日 2019年12月9日

編集・発行責任者：北條

